

地域でガンバル商店 Vol 1 水車屋商店(富塚)

かつて金山落ベリ(矢の橋)で穀物を挽く水車小屋をやっていましたが、水の被害をたびたび体験するうちに高台地域(富塚)に移動して来たと聞いています。元々は阿羅久尻(荒口利)と呼ばれていた地域です。

昭和29年に両親が「水車屋商店」を始め、私が2代目として受け継いで40年近くなります。高度経済成長期には、我が家の前の交差点中心に、周囲は富塚銀座と呼ばれ、今残っているハタヤ呉服店、秋本自転車、森山プロパン(今は灯油配達)、松屋商店(今はガソリンスタンドのみ)、大塚大工などの他、魚屋、床屋、米屋、駐在所、電気屋、パーマ屋、運送屋、八百屋、薬局、飲み屋など様々なお店がありました。ハタヤが飛行機を使ってチラシをまき学生服の宣伝をしたことがあったほどにぎわっていました。

国道16号が完成する頃、第二小に通う生徒達の安全を考えいち早く、我が家と向かいの家が土地を提供して横断歩道を作ってもらったり、地域とのつながりも密でした。しかしニュータウン地域の発展と時代の変化に伴い、大型店が進出し、少子高齢化が急速に進行し、また市街化調整区域ゆえに住宅開発もなく、富塚銀座は見る影もなくなってしまいました。

地域とのつながりを大切にしてきたことで、細々残る地域の行事に必要なものを配達したり、友人知人の要望に応じて商品を提供することでなんとか商店を維持しています。沢山いた仲間の商店はほぼ消えてしまい寂しいが、何でも頼まれれば配達し、よろず事の相談にも応じるので、気軽に水車屋商店に声をおかけください。

水車屋店主 中村勝一



かついち

地域の良いところ再発見 Vol 2 折立区来迎寺

本寺は、学区内において比較的戸数の少ない折立地区に佇んでおり、名称を無量山最勝院来迎寺と称し、天台宗比叡山延暦寺を本山とし、承久年間(1219~1222年)の開基といわれています。ご本尊は阿弥陀仏、脇侍に観音菩薩、大勢至菩薩の弥陀三尊が祀られています。

堂内の諸仏壇には、鎌倉期の作といわれている阿弥陀仏立像、不動明王立像、毘沙門天立像が祀られ昭和45年より順次、市指定有形文化財となりました。毎年節分には阿弥陀護摩供が執行され、世界平和を始めとし檀信徒の所願成就が祈願されています。他に江戸時代後期の作といわれる閻魔王座像、奪衣婆座像が鎮座され、いずれも市指定有形文化財となっています。

境内には樹齢400年を超えて、幹回り5メートル越えのイチョウの巨木が天然記念物に指定されています。元禄14年(1701年)に来迎寺を含む折立村が全焼する火災に遭った際に焼け焦げながらも耐えて現在に至っているところから「火伏せの公孫樹(イチョウ)」として崇められています。



来迎寺駐車場の前には、500坪程の休耕田を活用した菖蒲園が折立地区の方々により整備されて、毎年5月の連休には見事に咲いた紫の菖蒲から、その後の花菖蒲を楽しむ事が出来ます。七福神菖蒲まつりが毎年開催されて、たくさんの方々にお出でいただき賑わいに満ちていましたが、残念ながらコロナ禍により中止されました。今、再開に向けて検討されているところです。

来迎寺住職 鈴木良和

協議会からのお知らせ

■協議会・白井第二小学校のホームページ

*協議会

URL <http://www.midorinosatoshiroi.jp>

eメール info@midorinosatoshiroi.jp

*第二小学校 URL

<https://www.city.shiroi.chiba.jp/gakkou/sr2/index.html>



■地域の催事

*3/11(火) 白井中学校卒業式

*3/18(火) 白井第二小学校卒業式

*4/9(水) 白井中学校入学式

*4/10(木) 白井第二小学校入学式

*5/17(土) ~田んぼの学校(しろい環境塾)

*5/25(日) 白井市ごみゼロ運動

*5/26(月) ~28(水)

白井工業団地内一斉清掃

(白井工業団地協議会)

※カワセミNo.14は令和7年6月発行予定です。



●題字：白井第二小学校6年生土屋凜夏さん

発行 白井第二小学校区みどりの里づくり協議会 総務・広報部会

*取次先 白井市公民センター(白井市中98-17) ☎080-6242-6065



2月2日(日)小雨が降る中、白井市総合防災訓練が白井総合公園で白井第二小学校区を対象区として実施されました。防災関連機関や多くの団体が参加し、また多方面で連携・協力する災害応急対策訓練は市では初めての試みでしたが、全体で約600人が参加し有意義な成果を得ました。今後もさらに家庭や地域で認識を深めるとともに、防災に対する備えを充実・強化し、被害の軽減に努めなければならないと考えます。

総合防災訓練の人命救助訓練に参加して



中区長
板橋則雄

防災訓練と聞くと、小学校や中学校の校庭で行っていた「避難訓練」のイメージがあり、自分から進んで参加するのではなく行事として参加するイメージが強くなりました。今回の防災訓練では、情報伝達、被害情報の収集伝達、救出救助、災害医療活動、ライフライン復旧などを行い、中区と平塚西区による人命救助の実動訓練も行いました。

多くの地域住民が訓練に参加することによって、実際に災害が起こった際に少しでも多くの隣人を助けることが出来るかもしれません。いつ発生するか分からない災害に備えて、今から準備をしておこうと思います。

本当に貴重な体験をさせてくださりありがとうございます。

●●●重要！家庭や地域で備えること●●●

●日頃から避難場所や経路を確認し、災害時には迅速に避難しよう！

強い揺れを感じたり、揺れが弱くても長くゆったりと続く揺れを感じたら、安全な避難場所に迅速に自主避難するという行動原則を徹底することが重要です。皆で助け合いながら逃げることは重要ですが、自分の命は自分で守ることが基本的な考え方です。この行動を基本原則としてみんなが共有することは、自分の命を守るだけでなく、自分を助けようとする他の人の命を守ることにもつながります。

また、徒歩による避難が原則ではありますが、地域特性を踏まえて、遠距離の避難を余儀なくされる場合には車を使った避難も有効と考えられます。車による避難は渋滞を招き、かえって避難の遅れにつながるとも考えられますが、利用の際に渋滞につかまった場合には躊躇せず、すぐさま徒歩避難に切り替えるという行動ルールを徹底することも重要です。

日頃から安全な避難場所や避難経路を確認しておき、災害時にはできるだけ早く避難するようにしましょう。



●共助による救助活動●

災害時の人命救助は、時間の経過とともに困難になります。災害発生から72時間が経過すると、生存率は急激に下がり、そのうち生存率の高い時間帯（ゴールデンタイム）は24時間といわれています。

災害発生直後、いかに迅速に救助活動が行われるかが重要ですが、道路の寸断や火災などにより、災害発生直後は救助隊が被災地域には容易に近づけないケースも多く、消防・自衛隊・警察など公的機関による救助「公助」の緊急対応には限界があります。

1995年の阪神・淡路大震災では、家屋の倒壊などによって生き埋めになったり、閉じ込められた人のうち、公助によって助けられた人は少なく、およそ98%は自力または家族、そして隣人などの地域住民によって救出されたのです。

災害による被害を最小限にするためには、公助や「自分の命は自分で守る」という「自助」に加えて「自分たちの地域は自分たちで守る」という「共助」の精神と取り組みが大変重要です。

互いに声をかけあって避難したり、被災者の救出や救護の手助けを行うなど、私たち一人ひとりが、ともに助け合うために自分ができることは何か考え行動することが自分自身とまわりの人たちを助けることにつながります。



●2～3日分の食料・飲料水・生活必需品等を備蓄しよう！

最低3日分の食料や飲料水、それぞれで必要としている生活必需品を各家庭で備蓄しておきましょう。普段の生活で使っている物を、普段の生活の中で余分に買うことにより、定期的に備蓄が更新されます。特別なものを揃える必要はありません。

発災直後は、水や食料を求めて多くの人が食料品店やスーパー、コンビニエンスストア等に集まることが予想されます。おむつや生理用品、常備薬、アレルギーに対応した食べ物など、一般の人と異なる生活用品を必要とする人は、物資が届かない可能性も考えられるので多めに準備しておくことも考えておきましょう。

ご近所や同じ地域内の企業同士で、共同で備蓄品を準備し、定期的に訓練で消費しながら更新するなど、共同のイベントに合わせて備蓄を進めることで地域内の連携がより深まることも期待できます。



◆協議会のパートナー募集

白井第二小学校区に在住、在勤されていて、まちづくり活動へ関心のある方、是非ご連絡ください。携帯☎080-6242-6065

◆ザ・白二祭 大盛況！！

1月24日（金）に第二小で『ザ・白二祭』が開催されました。1年生から6年生が縦割り班で協力をして、ゲームや遊びを考え、お客さんに楽しんでもらうという内容です。子ども達はもちろん、保護者や地域の方も大いに楽しんでいました。PTAや放課後子ども教室の方からもお店を出していただき、思い出深い一日になりました。



◆協議会交流会を実施

2月15日（土）公民センターで『協議会交流会』が約30名の代議員や市関係者が集い、開催されました。

中区のお囃子保存会の演奏で始まり、お祭りのような立食形式の自由歓談の交流会が開宴しました。



和やかな雰囲気の中で交流を深めることにより新しい発見や発想を導くことができました。

交流会に参加された方々です！



◆水草バスターズ in 平塚

この取り組みは千葉県の令和6年度「湖沼における外来水生植物防除補助金事業」として、特定外来生物ナガエツルノゲイトウの駆除活動をNPO法人しろい環境塾が主催して行いました。

*開催日：第1回 2月15日 土曜日
第2回 3月 1日 土曜日

*場 所：平塚大堤上休耕地他

*参加者：約130名

白井の水田を守り、手賀沼の水環境を保全するために重要な作業であり、夏の爆発的な繁殖を抑えるためには、今が大事な時期です。平塚地区の農地にはびこったナガエツルノゲイトウの根を掘り起こして駆除しました。

作業の後はばらっぱまんじゅうと豚汁を食べて温まりました。



第1回の様子

